

地域で高めあおう防災力

東日本大震災において、改めて地域のつながりの大切さが再認識されています。



本年3月11日に発生した「東日本大震災」から、半年が経とうとしています。

ここに改めて、亡くなられた方々に対し衷心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

これまで、市では総力を挙げて、帰宅困難者への対応、被災家屋等への支援、福島県等からの避難者の受け入れなど、積極的に取り組んでまいりました。

また、この間、多くの市民の皆様や企業などから物心両面に亘り、ご支援ご協力をいただきました心から感謝を申し上げます。

さて、今回の大震災において、改めて地域のつながりの大切さが再認識されています。

そこで、災害発生時における地域社会の救援活動のあり方について、佐野短期大学の山田昇教授に寄稿していただきました。

市民の皆様におかれましても、地域や家庭において、もしもの時に備えて、地域の防災力についてぜひ話し合ってみてください。

栃木市長
鈴木 俊美

もしもの時の助け合い 地域での災害救援活動の取り組み



佐野短期大学 山田 昇

もしもの時の「命綱」は近所の人

台風や大雨、地震・大規模な火災等の時、身体に障がいのある人などの不安は計り知れないものがあるでしょう。そのため、災害に際して、救助・救援を必要とする人に最も身近な地域の人々の対応が必要となります。もしもの時の「命綱」は近所の人です。

地域には、自治会などのコミュニティがあります。このコミュニティの機能を災害時に活用できないか、地域によって、その取り組みを積極的に進めている自治体も少なくありません。

自治会や地域コミュニティの取り組みとして

日常生活の中で、何らかの救援を必要とする隣人を把握し、もしもの時に救援するシステムを地域の中に組織しているコミュニティがあります。また、自治会の組織として「災害救援班」を設置してはどうでしょうか。地域の協力者として「福祉協力員」又は地域サポーター（仮称）を住民にお願いし、災害救援だけでなく、地域における見守りや声かけなどにも協力をしてもらいます。

災害の被害は、地域全体に及びます。決して「他人事」ではありません。地域には、様々な人々がいます。お互いに少しずつ役割を分担すれば「地域のセーフティネット」ができます。ぜひ、自治会などで話し合ってください。

「安全・安心のまちづくり」は、地域からスタートするのではないのでしょうか。

地域での「避難・救援訓練」と

「地域防災・災害対応マップ」の作成を

地域での防災や避難訓練が必要です。できれば隣接する複数の自治会と相談して協働で実施することや避難経路・避難所などを確認・把握しておくことも大事です。これらを通して地域の防災・災害対応マップを作成してはどうでしょうか。

地域の福祉施設などへ救援活動を

今回の震災で、特別養護老人ホームやデイサービスセンターが被害を受け、多くの利用者が亡くなりました。施設でも、災害対応をしています。夜間などの大規模災害の際には、職員だけの対応では困難です。どうしても地域の協力がが必要です。

ぜひ、自治会などで施設を訪問して、施設の生活や災害時の対応について意見交換をしてください。

住民がお互いに知り合うことから

栃木県は、比較的自然災害が少なく、暮らしやすいといわれていますが、私の経験（茂木町の集中豪雨や那須地域の水害など）から痛感させられたことは、救援活動には、地域住民の支え合いやボランティア活動が大事であり、そのためには日頃から住民がお互いに「知り合うこと」が大切だということでした。

かつてあった「困った時はお互い様」「向こう三軒両隣」のつながり・コミュニティの復活は難しいかもしれませんが、私は、「人が人に優しい、共生のまちづくり」を目指して欲しいと思っています。

《山田昇氏の紹介》

2002年3月まで栃木県職員として福祉行政等に携わり、栃木県社会福祉協議会事務局長等を歴任する。

佐野短期大学総合キャリア教育学科 教授。
著書に「福祉を考える」「輝けシルバーライフ」今、高齢者福祉は」などがある。

家庭における防災対策を 「日ごろからの備えが重要です」

地震に備えて

地震は、いつ起きるか分からないものです。日ごろから、地震対策を確認しましょう。

○家具などの転倒、移動防止措置をしましょう。

○ブロック塀の点検、補強をしましょう。

○窓ガラスに飛散防止フィルムを張りましょう。

○避難に備えて食料、飲料水などの非常持ち出し品を準備しましょう。

風水害に備えて

毎年、台風や豪雨により各地で被害が発生しています。適切な対応ができるよう、風水害対策を確認しましょう。

○台風や雨・風に関する気象情報に注意しましょう。

○停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオを準備しましょう。

○浸水などのおそれがあるところでは家財道具を高い場所に移動しましょう。

土砂災害に備えて

土砂災害の多くは、大雨が原因で起こります。気象情報などに注意し、適切な対応ができるよう、土砂災害対策を確認しましょう。

○「がけに割れ目が見える」「山鳴りがする」「川が異常に濁る」など普段と違った現象に注意しましょう。

○危険を感じたら、早めに自主避難しましょう。

自治会や家庭内で防災会議を

秋は、台風シーズンでもあり、大雨洪水・土砂災害等に備えて、防災マップやハザードマップをご覧いただき、各ご家庭で再度、避難場所、避難経路等の確認をお願いします。

また、町内によっては、独自に自治会が地元企業の協力を得て、一時的な避難先を確保するなどの取り組みをされています。

防災訓練を実施します

ぜひ、皆さんでお越しください。

○大平地域

日時 9月24日(土)

午前8時30分～11時予定

場所 大平南小学校(大平町西水代)

○栃木地域

日時 10月2日(日)

午前9時～正午予定

場所 吹上小学校(吹上町)

自主防災組織設立を支援します

自主防災組織とは、『自分たちの地域は自分たちで守る』という自覚や連帯感に基づき、自主的に結成する組織です。地域住民による自治会等を単位とした自主防災組織の設立補助金1団体20万円を限度として補助しています。

避難場所 いざというときに避難する場所を確かめておきましょう。

避難場所		避難場所		避難場所		避難場所	
1	栃木東中学校	26	皆川中学校	51	大平公民館	76	赤麻小学校
2	栃木南中学校	27	皆川城東小学校	52	大平体育館	77	赤麻地区公民館
3	栃木中央小学校	28	栃木工業高校	53	大平東地区公民館	78	赤麻保育園
4	南小学校	29	皆川公民館	54	大平西地区公民館	79	渡良瀬の里
5	栃木第四小学校	30	吹上中学校	55	栃木翔南高校	80	三鴨小学校
6	栃木高校	31	吹上小学校	56	大平南地区公民館	81	三鴨保育園
7	学悠館高校	32	千塚小学校	57	大平子どもセンター	82	三鴨地区公民館
8	栃木文化会館	33	老人福祉センター福寿園	58	大平南体育館	83	道の駅みかも
9	市民会館	34	吹上公民館	59	大平運動公園	84	合戦場小学校
10	栃木第三小学校	35	寺尾中学校	60	大平農村婦人の家	85	あいあいプラザ
11	とちぎコミュニティプラザ	36	寺尾中央小学校	61	大平隣保館	86	都賀南部コミュニティセンター
12	栃木西中学校	37	寺尾南小学校	62	ゆうゆうプラザ	87	家中小学校
13	栃木第五小学校	38	出流ふれあいの森	63	部屋小学校	88	栃木市社会福祉協議会都賀支所
14	栃木女子高校	39	寺尾公民館	64	部屋地区公民館	89	都賀スポーツ公園管理事務所
15	栃木商業高校	40	国府北小学校	65	部屋保育園	90	都賀中学校
16	栃木農業高校	41	国府南小学校	66	藤岡第二中学校	91	都賀文化会館
17	とちぎ西部生きがいセンター	42	国府公民館	67	藤岡文化会館	92	都賀公民館
18	そのべ保育園	43	おおつか保育園	68	藤岡保育園	93	都賀体育センター
19	東陽中学校	44	栃木総合体育館	69	藤岡小学校	94	都賀つば保育園
20	大宮北小学校	45	大平東小学校	70	藤岡スポーツふれあいセンター	95	木コミュニティセンター
21	大宮南小学校	46	大平南小学校	71	藤岡地区公民館	96	つがの里ふるさとセンター
22	大宮公民館	47	大平西小学校	72	藤岡総合体育館	97	赤津小学校
23	栃木保健福祉センター	48	大平中央小学校	73	藤岡遊水池会館	98	大柿コミュニティセンター
24	老人福祉センター泉寿園	49	大平中学校	74	加須市北川辺スポーツ遊学館		
25	いまいずみ保育園	50	大平南中学校	75	藤岡第一中学校		

問合先 本 消防防災課 ☎21-2703